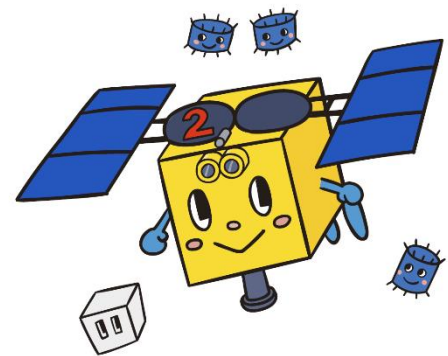




日本が世界に誇るはやぶさの偉業

2020年12月6日、はやぶさ2が採取した小惑星「リュウグウ」のサンプルが地球に届けられます。テレビや新聞などでも大きく取り上げられることでしょう。それは日本の科学技術が世界に誇るべき成果だからなのです。



はやぶさ2 ©JAXA

2010年に帰還した初代「はやぶさ」も「はやぶさ2」も、小惑星というとても小さな天体を探査し、着地し、サンプルを採取して地球へ持ち帰っています。リュウグウの重力は地球の8万分の1しかありません。そのため、大きな天体へ着陸するのとは違う難しさがあります。小惑星は太陽の周りを回っています。はやぶさも太陽を回りながら目的の天体に近づき、遠ざかって地球へカプセルを帰還させます。この技術は世界的に注目されています。

こうして、得たサンプルはとても貴重なものです。小惑星からのサンプルには太陽系が出来た頃の情報が失われず残っている可能性があります。また、生命誕生の謎を解き明かす手がかりが隠されているかも知れません。

ギャラクシティでは、カプセル帰還1週間後の12月12日（土曜）に宇宙科学研究所の吉川真先生をお招きして講演会を行います。そのようすはYoutubeのギャラクシティ公式チャンネルから視聴することができます。この機会に、最新の宇宙の謎に触れてみませんか。